

1. 件 名

日本原燃株式会社の2020年度原子力防災訓練（総合訓練）に関する意見交換について

2. 日 時

令和3年1月7日（木）9:30～10:30

3. 場 所

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所 執務室内

4. 出席者

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所（2名）

宮本副所長、森原子力防災専門官

日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という）（2名）

安全・品質本部担当者 他1名

5. 要 旨

日本原燃株式会社再処理事業部・濃縮事業部・埋設事業部防災業務計画に基づき、令和2年12月1日（火）に実施した「2020年度原子力防災訓練（総合訓練）」の結果について、同社担当者から抽出した問題点及びその対策案の概要について説明を受け、以下のとおり確認等を行った。

- (1) 日本原燃全社対策本部室の対応が、ERCやプラント情報収集に集中し、地域住民等のプラント外の対応に係る情報収集が滞っていたことから、全社対策本部室の役割について再考するよう指導助言した。日本原燃から、プラントの情報収集だけでなく、地域住民対応に関する情報についても収集し、能動的に発信していく旨の回答を得た。
- (2) 日本原燃全社対策本部室のERC対応ブースが狭いことから、要員配置等のレイアウトを見直すよう指導助言したところ、日本原燃から、ERC対応ブースの拡張を実施する予定との回答を得た。
- (3) ERC対応だけでなく、全社対策本部室と各事業部との情報共有の改善について指導助言したところ、日本原燃から、情報伝達の仕組みを見直すとの回答を得た。